

長崎ひまわりプロジェクト「健康応援広場」

「支援を要する家庭への食材無料提供」について（趣意書）

残暑の候、貴職におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、こどもと子育て家庭を見守り笑顔あふれる地域を目指して発足した「長崎ひまわりプロジェクト」も発足 7 年を経過し、5 周年事業では「こども家庭庁審議官」や「県知事」の協力の下、県と「こどもまんなか応援サポーター共同宣言」を行い活動の推進を図っているところです。

今年度は五島市でも「長崎ひまわりプロジェクト本部」の支援を頂き、食材の無料提供を行うことができました。

これらの活動を通して、「五島の子どもは、五島で守る。」という気運が高まり「五島支部（どがんしちょっとね、よかよか）」設立の運びとなりました。

以上の趣旨をご理解いただき、子どもの「空腹と孤独を守り切る」ためにもご協力をよろしくお願い申し上げます。

長崎ひまわりプロジェクト五島支部
事務局長 吉原 伊津子
連絡先 09073906293

長崎ひまわりプロジェクト五島支部

「どがんしちょっとね・よかよか」について

- 1 目 的 「ひと・もの・こと」をつないで、子育て世代を応援しよう。
- 2 具体目標 「健康応援広場」として、物価高騰を踏まえ、子育て家庭や生活困窮家庭等に食材等の無料提供を実施する。

3 組 織

☆企 画 班

- ・ 顧 問（木口 利光・大窄 誠一）
- ・ 事務局長（吉原 伊津子）
- ・ 事務局次長（増田 祥子・鍋内 由紀子）
- ・ 保育会会長（鷺浦保育園＝佐々野園長）

☆活 動 班（班長＝保育会会長）

- ・ 五島市職員【こども未来課（ 人）・教育総務課（ 人）】
- ・ 五島市社会教育委員会（2人）
- ・ 保育部会（10人）
- ・ 日本語学校の学生さん（9人）
- ・ JAごとう女性部（3人）
- ・ 商工会女性部（4人）
- ・ 栄養士会（ 人）
- ・ 更生保護女性会（4人）
- ・ 民生委員（3人）
- ・ こども食堂（4人）
- ・ ミニデイ（ 人）
- ・ 現地実行委員（2人）

☆協力団体（こども未来課・教育委員会総務課）

~~~~~

#### 《長崎ひまわりプロジェクト五島支部への協力連絡について》

##### ☆ 協力内容について

- ① 食料品（生ものを除く賞味期限が9／17以降の物）等の提供
- ② 不要になった生活用品等
- ③ 9月17日13時30分に行う袋詰めの協力

##### ☆ 連絡先 大窄(09095658453) 吉原(09073906293)

~~~~~

長崎ひまわりプロジェクトの概要

こどもと子育て家庭を見守り、笑顔あふれる地域を目指して

活動者の応援：こども場所に関するボランティア活動への参画，こども場所への食材や物資等の提供，こども場所の広報・PR 活動への協力

その他：声かけ 健康応援広場（子育て家庭への無料食材提供・相談）事業

1 地域の「こども・子育て家庭」にやさしい地域社会の実現を目指します

県内で活動している女性中心の 23 団体に構成され、こどもと子育て家庭に声をかけ、励ますなどの活動を通して、「地域の子どもは地域で守り育てる」ことを目指し、笑顔あふれる地域社会になるよう活動しています。

私たちの登録団体は、積極的に地域で連携し協力しあえるような顔の見える関係づくり、各団体の専門性を活かした取り組みなどで、こどもの育ちに寄り添い、こどもと子育て家庭をサポートしています。

2 人と人、人と地域をつなぎ、寄り添いこどもの育ちを見守ります

地域では挨拶・声かけを基本とし、見守りの意思表示として、ひまわりを植栽。ひまわりとともに地域を見守り、こどもたちの心のよりどころとなるように活動しています。また、行政とも連携をとりながら、子育て家庭へ食品の無料提供、専門職による相談事業を実施し、こどものサポート・心の居場所づくりなど子育て家庭の応援を行っています。

2023 年 12 月には県・県青少年育成県民会議とともに、「みんなで創ろうこどもの笑顔あふれる長崎県」という「こどもまんなか応援サポーター共同宣言」を行いました。

官民協働で、こどもの育ちを支える「3つの風」、①抱っこ②コミュニケーション③体験の風を吹かせるよう 23 団体の専門性を活かし、県民にむけて「3つの風」啓発に努めます。

3 「健康応援広場」

無料の食材提供とこころの居場所としての専門職の相談支援

コロナ禍・物価高騰と未来を担うこどもたちを育てるには大変な世の中です。

「健康応援広場」では育てる側にも寄り添い、行政と連携して地域の実情に合わせて会場型・園配布方式で、食品の無料配布を行っています。

会場型では（R6 年実績 7 月、9 月長崎市・11 月西海市・12 月諫早市など）、子育てに直面している悩みに対して専門職による相談も行い、こころの居場所として育てる側の声も聴き、深刻な場合にはすぐに行政に実情が反映するよう連携し推進しています。

【加盟団体】

長崎県地域婦人団体連絡協議会／長崎県栄養士会／長崎県看護協会／長崎県更生保護女性連盟／長崎いのちの電話／長崎県歯科衛生士会／親子の安心と学びを支えるネットワーク／ガールスカウト長崎県連盟／長崎県交通安全母の会連合会／

長崎県国公立幼稚園・こども園協会／長崎県商工会女性部連合会／JA 長崎県女性組織協議会／長崎県助産師会／ながさき女性活躍推進会議／長崎県私立幼稚園・認定こども園連合会／長崎県退職女性校長会／ながさき広がるネット（長崎県男女共同参画社会推進者のネットワーク）／長崎県 BBS 連盟／長崎県ながさきファミリープログラムファシリテータの会／長崎県保育協会保育士部会女性部／長崎県臨床心理士会／長崎県母子寡婦福祉連合会／長崎県民生委員児童委員協議会

長崎ひまわりプロジェクト

4月30日、県内23の女性団体などでつくる、ボランティア団体「子どもを守る長崎ひまわりプロジェクト」が行っている「地域の子どもの孤独と空腹を守り抜く活動」として、健康応援広場（食材の無料提供と相談支援）が実施されました。

市内の企業や団体から約40人が集まり、100世帯分の支援物資の仕分け作業が行われました。

仕分けられた支援物資は、食料品や日用品で、市内のひとり親家庭などに届けられました。

参加された方は、子どもと親が感じる孤独を食で満たすことで笑顔になってほしいと語っていました。

困りごと未来課子育て支援班

☎ 74・5831



参加された皆さん